

佐野 毅

さの つよし / Sano Tsuyoshi

<p>所属・役職</p>	<p>山形県南陽市 DX普及主幹 (併任) 監査委員事務局長 総務省 経営財務マネジメント事業アドバイザー</p>	
<p>活動拠点</p>	<p>主に東北(山形)・依頼があれば全国どこでも対応可</p>	
<p>略歴</p>	<p>1990年 山形県南陽市 採用 2016年 みらい戦略課 課長補佐(広報情報担当) 2021年 みらい戦略課 情報デジタル推進主幹 2025年 DX普及主幹</p>	
<p>こんなことを支援できます</p>	<p>① 生成AI活用のための機運醸成 ・幹部向け講演・研修の実施 ・庁内AI推進活性化プログラムの立案・運営支援 ・AIチャットボットの立案・運営支援</p> <p>② デジタルデバインド対策 ・生成AI活用推進のプログラム設計を支援 ・推進アンバサダーの育成・研修の実施</p> <p>③ DX推進・業務改革プロジェクトの推進・人材育成 ・業務改革プロジェクトの立ち上げ・推進・庁内調整の進め方を助言 ・業務改革を通じた職員のDX人材育成の取組みを支援</p> <p>④ 行政手続オンライン化 ・フォームによるオンライン手続き化の支援</p> <p>⑤ 窓口業務 BPR・書かない窓口 ・窓口業務改革(BPR)の設計・推進支援 ・「書かない窓口」システム構築・相談業務改革の支援 ・RPA活用やフロント・バックヤード業務の見直し、効率化手法の提案 ※令和7年度よりデジタル庁窓口BPRアドバイザー研修生として活動</p>	
<p>自治体向けメッセージ</p>	<p>新しいことを始める時、最もエネルギーを使うのは「どう進めればいいのか」を考える最初の一步です。その「重たい一步」を一緒に踏み出しましょう。 完璧な準備など必要はありません。むしろ、「何がわからないかわからない」という状態でお声掛けください。</p>	

<主な専門分野> ※特に得意とする専門分野を3つまで掲載

生成 生成AI活用

<地域情報化に関する実績>

<<生成 AI>>

■ 「生成 AI を「誰でも使える」に変える！費用ゼロのデバインド対策」

生成 AI の導入を単なる事務効率化のツールではなく、人口減少社会において地域のアイデンティティを再定義し、生き残るための「プロセス」と捉えています。道路や橋に代わる現代の「デジタル公共事業」として再定義しました。

物理的なインフラ維持が困難になる時代において、生成 AI 活用を「社会を維持する」ための不可欠なインフラとしてとらえ、誰でも簡単に生成 AI を使えるようにするため、南陽市が実際に取り組んだ失敗や成功例を公開しています。

作成したプロンプト約 780 例を南陽市のホームページで公開し、「公共のプロンプト」として、官民間問わず誰もが手軽に生成 AI を利用できる環境を構築しています。

- 令和7年度
- ・岩手県立大学「データサイエンス・リカレント講座」において、自治体における「生成 AI の導入の進め方と克服する課題」について講演
 - ・公立大学法人山形県立保健医療大学にて「生成 AI 実践講座」講師
 - ・福島県喜多方市生成 AI 普及へのアドバイス（行政視察受入）
 - ・5G・IoT・AI コンソーシアム「DX 大賞」において、奨励賞を受賞（「生成 AI を「誰でも使える」に変える！費用ゼロのデバインド対策」） <https://dxawards.mmy.ne.jp/>
 - ・日本デジタルトランスフォーメーション推進協会（JDX）『People Innovation Awards FINAL』において、チャレンジ賞を受賞（「生成 AI を「誰でも使える」に変える！費用ゼロのデバインド対策」） <https://jdxa.org/news/pia2026/>
 - ・埼玉県狭山市議会へ「南陽市が進める生成 AI デバインド対策について説明」（会派視察受入）

<<DX>>

■ 内製によるDX

外部ベンダーに頼らず職員自身がデジタル技術を活用する「手の内化（内製化）」を重視し、行政 DX を推進してきました。具体的には、オンライン手続きの導入、LINE 公式アカウントの活用、Zoom を使ったオンライン相談などを、職員自らが既存のツールや技術を組み合わせることで実現しています。

特に、最新技術にこだわらず、既存ツールを組み合わせることで新しい価値を創出する柔軟な発想は、他の自治体でも応用可能です。

- 令和3年度
- ・山形県主催の山形デジタル道場 講師
 - ・第2回 デジタル化取組み事例
 - ・第5回 内製による避難所状況アプリの取組み
- 令和4年度
- ・日本 DX 大賞 2022 決勝大会において、行政機関部門で「内製で取り組む『行かなくても済む市役所』への改革」を発表
- 令和6年度～現在
- ・一般社団法人まるごとデジタルにおいて、DX の取組み全般について発表するとともに、参加自治体へのアドバイスをを行う。
- 令和6年度
- ・5G・IoT・AI コンソーシアム「DX 大賞」において、東北総合通信局長賞を受賞（「市民と行政の距離を縮める、手の内化（内製化）による行政DX」）
 - ・東北地域の自治体等における ICT 活用事例集に登録（市民と行政の距離を縮める、手の内化（内製化）による行政DX）
- 令和7年度
- ・山形県自治体病院協議会事務長部会にて『現代社会におけるDXの意義』について講演
 - ・岩手県宮古市『市民と行政の距離を縮める、手の内化（内製化）による行政DX』行政視察受入